

マレーシア Jalan Jalan Japan Travel Fair 報告書

シンガポール事務所

自治体国際化協会シンガポール事務所では、2012年3月2日(金)から4日(日)まで、マレーシアにある巨大ショッピングモールのパビリオン(PAVILION)で開催された観光庁、及び日本政府観光局(Japan National Tourism Organization: JNTO)主催の「Jalan Jalan Japan Travel Fair」に参加し、JNTOのVJ(ビジット・ジャパン)カウンターにて、来場者に日本各地の観光情報を提供した。

本旅行フェアの概要等について、下記のとおり報告する。

1 「Jalan Jalan Japan Travel Fair」の概要

●日時：2012年3月2日(金)から4日(日)

●開催場所： PAVILION 内 Tokyo street
(Pavilion Kuala Lumpur : 168 Jalan Bukit Bintang,
55100 Kuala Lumpur, Malaysia)

URL:<http://www.pavilion-kl.com/content/index.php>



～PAVILION～

クアラルンプール都心部にある大型ショッピングモール。高級ブランド店が軒を連ねている。

～Tokyo street～

2011年7月に開業。

PAVILION内にある日本関連の飲食店や小売店が仲見世風に並ぶ日本街であり、日本食、日本の文化情報発信地となっている。七夕や雛飾りなど日本の年中行事に合わせたイベントも開催されている。

●入場料：なし

●出展者

株式会社オリエンタルランド
江戸ワンダーランド日光江戸村
現地旅行会社 5社



●ステージイベント

VJカウンター横にステージが設置され、日光江戸村忍者パフォーマンス、浴衣を着たスタッフとの記念フォトサービス、和太鼓パフォーマンス、剣玉・紙風船・独楽回しといった伝統的な遊びのデモンストレーション等が行われた。

●同時開催「Khabar baik Japan 元気です日本」

2月28日(火)から3月4日(日)までPAVILIONにて「Khabar baik Japan 元気です日本」と銘打った日本関連イベントが開催された。浴衣(一式)、盆栽といった日本関連商品の販売と、着物ファッションショー、髪結のデモンストレーションなど各種日本文化を紹介することで、PAVILION来場者、一般消費者に向け、日本の魅力を発信したものである。

また、東日本大震災の被災地復興の様子を紹介した写真、子供達の絵画が展示された。



2 VJカウンターの概要

VJカウンターでは訪日旅行に関する総合的な案内窓口として、各自治体からご提供いただいた各種観光パンフレットの配布や説明、質問への対応のほか、来場者へのアンケート調査、訪日旅行商品購入者に対するノベルティバックのプレゼント等が行われた。

【受けた質問例】

- ・桜開花シーズン：見頃の時期について
- ・Japan Rail Passの適用範囲：東京から北海道までJRで行けるか、また、その所要時間
- ・訪日時に開催される祭りといったイベント情報について
- ・目的地までの移動手段、時刻表



よく尋ねられる旅行先としては、東京、大阪、北海道が多かった。特に、東京については、地図を求められることが多く、大阪については何をしたら良いかという質問が多かった。これは、2011年11月30日から格安航空会社のAir Asiaがマレーシア、大阪間で就航し、大阪の知名度が上がったが、現地の情報が不足しているためと考えられる。また、航空券は購入したが、どこに行くか決めていないという人もいれば、目的地までの交通手段を細かく質問する人も多かった。

今回のフェアの中では、震災や原発に関する質問は少なく、被災地から離れているところに行きたいと言われることもなかったため、マレーシアではシンガポールに比べて余り気にしていない印象を受けた。

3 フェアの状況

Jalan Jalan Japan Travel Fair は通常の国際旅行フェアとは異なり、出展している旅行会社においても訪日旅行のみを取扱う旅行フェアとして開催された。開催場所の Tokyo street についても、他の場所で開催するよりも日本に関心の高い方が集まる場所と言え、VJ カウンターでは日本語を勉強しているからと日本語で話しかけられることもあった。また、客層も 20 代～30 代、小さな子供を連れた家族連れが目立った。日本人やその他外国人も多く来場した。

MATTA Travel Fair (2012 年 3 月 16 日から 3 月 18 日 Putra World Trade Centre にて開催) が二週間後に控えていたためか、ツアー等の販売そのものは振るわなかったように思えるが、MATTA Travel Fair とは異なり、入場料が不要のため開催期間中に何度も来場された方がいた。集めたパンフレットから情報を収集し、旅行プランを立てた上で、プランが実行可能なものかを確認されるためであった。

複数のパンフレットを参考に旅行プランを立てるため、次なる目的地までの適切な交通手段が分からない。または、交通手段は記載されていても、時刻表といった具体的な情報がインターネットで検索しても分からないという苦情をいただいた。調べてみると、日本語であればキーワード検索で情報を入手することができるが、英語ではサイトそのものがないというものが多かった。そのため、近年の個人旅行者の増加傾向から見て、より詳細な情報を英語で分かりやすく提供する事は喫緊の課題のように感じた。

4 所感

今回は桜(花見)に関する質問が多かったように思う。韓国や台湾も桜を観光PRの一つとして利用しているが、まだまだ桜は日本のものとして認識されている方が多いように思う。更に、四季のない国からすると、桜の開花時期や桜前線が北上していく話だけでも興味を持っていただける。今年の 4 月下旬に桜を見るために訪日し、時期が外れたら北上すると話す方もいた。自然の見頃の時期を事前に紹介することは難しいが、逆に盛りの場所をリアルタイムで紹介できたら、誘客の可能性があると感じた。

また、移動手段として、JRパスを始めとした各種周遊チケット、フリーパス等があるが、どのチケットが安くて便利なチケットになるかといった相談も多かった。周遊チケットの場合、希望する日程と、適用範囲・期間や、通常料金との比較が、分かりにくい場合が多い。訪日旅行は高いというイメージもあるため、モデルルートで観光地を紹介するとともに、いかに便利で、安くなるかということをもPRすれば、チケット購入と誘客の可能性が高まるのではないかと感じた。

菱田調査役(兵庫県派遣)
原田所長補佐(山口県山口市派遣)
GUHE 調査員